様式第2号

農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー登録票（基本情報）

535　　令和８年10月７日現在

①	ふりがな 氏名	ながた　ようすけ 永田　陽介
④	所属先 所属先名称	石川県庁 農林水産部 石川農林総合事務所 森林部 林業振興課
	所属先 役職名	主任技師
⑥	専門分野 ※該当に✓を記入	☐ 捕獲手法　☑ 侵入防止技術　☑ 周辺環境整備　☑ 地域合意形成　☑ データに基づく計画立案 ☑ 野生動物管理（生息調査含む）　☑ ICT機器の活用（捕獲通知等）　☐ 処理（焼却・減容化） ☐ その他（　　）
⑦	対象鳥獣 ※該当に✓を記入	☑ シカ　☑ イノシシ　☐ サル　☑ クマ（ツキノワグマ） ☑ ハクビシン　☑ アライグマ　☐ アナグマ ☐ カラス　☐ カモ　☐ ヒヨドリ　☐ スズメ　☐ ムクドリ ☑ その他鳥獣（　カワウ　）
⑧	対応可能地域 ※該当に✓を記入	☑ 全国　☐ 北海道　☐ 東北　☐ 関東　☐ 北陸　☐ 東海 ☐ 近畿　☐ 中国　☐ 四国　☐ 九州　☐ 沖縄 ☑ その他※特定の都道府県、地域（　主たる対応地域：北陸・東北・関東　）
⑨	免許、資格及び登録状況 ※該当に✓を記入	☑ 狩猟免許　（ 銃：取得年 S・H・R　　年 、 わな： H25年 ） ☑ 鳥獣プロデータバンク　（ ☐ 鳥獣保護管理プランナー　☐ 鳥獣保護管理捕獲コーディネーター　☑ 鳥獣保護管理調査コーディネーター ） ☑ 鳥獣管理士（　準1　）級 ☐ ジビエ利活用コーディネーター ☑ その他（　林業普及指導員（林業一般）　）

農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー登録票（活動実績）

535　　令和８年６月４日現在

⑫活動実績	
活動期間	令和6年5月～令和7年3月
地域	石川県金沢市
対策の種類 ※該当に✓を記入	☐ 捕獲手法　☑ 侵入防止技術　☐ 周辺環境整備　☐ 地域合意形成　☑ データに基づく計画立案 ☑ 野生動物管理（生息調査含む）　☐ ICT機器の活用（捕獲通知等）　☐ 処理（焼却・減容化） ☐ その他（　　）
対象獣種 ※該当に✓を記入	☐ シカ　☑ イノシシ　☐ サル　☐ クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） ☐ ハクビシン　☐ アライグマ　☐ アナグマ ☐ カラス　☐ カモ　☐ ヒヨドリ　☐ スズメ　☐ ムクドリ ☐ その他鳥獣（　　）
活動の内容	・公園内に侵入するイノシシへの被害対策について職員に助言するとともに、忌避具の効果確認試験を実施した。 ・自動撮影カメラを設置し、イノシシの生息状況の把握および侵入経路の推定を行った。 ・忌避具と防護柵を組み合わせた対策について助言し、電気柵およびワイヤーメッシュ柵の導入の必要性を示すとともに、設置候補ラインを提案した。

⑫活動実績	
活動期間	令和6年5月～令和8年3月
地域	石川県内
対策の種類 ※該当に✓を記入	☐ 捕獲手法　☑ 侵入防止技術　☑ 周辺環境整備　☑ 地域合意形成　☐ データに基づく計画立案 ☑ 野生動物管理（生息調査含む）　☐ ICT機器の活用（捕獲通知等）　☐ 処理（焼却・減容化） ☐ その他（　　）
対象獣種 ※該当に✓を記入	☑ シカ　☑ イノシシ　☑ サル　☑ クマ（ツキノワグマ） ☑ ハクビシン　☑ アライグマ　☐ アナグマ ☑ カラス　☐ カモ　☐ ヒヨドリ　☐ スズメ　☐ ムクドリ ☐ その他鳥獣（　　）
活動の内容	・石川県内において、地域住民、集落リーダー、JA職員、行政職員等を対象に、鳥獣被害対策に関する研修会講師を複数回務めた。 ・研修に併せて現地の集落点検を実施し、侵入防止柵の設置状況や集落環境を確認した上で、電気柵の改善点や今後の対策方針について助言を行った。

様式第2号

農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー登録票（活動実績）

535

令和８年６月４日現在

⑫活動実績	
活動期間	令和7年9月～令和8年2月
地域	新潟県内
対策の種類 ※該当に✓を記入	□捕獲手法　□侵入防止技術　□周辺環境整備　□地域合意形成　☑データに基づく計画立案 ☑野生動物管理（生息調査含む）　□ICT機器の活用（捕獲通知等）　□処理（焼却・減容化） □その他（　　）
対象獣種 ※該当に✓を記入	□シカ　□イノシシ　□サル　□クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） □ハクビシン　☑アライグマ　□アナグマ □カラス　□カモ　□ヒヨドリ　□スズメ　□ムクドリ □その他鳥獣（　　）
活動の内容	・外来生物法に基づき、アライグマ捕獲従事者証の取得に必要な基礎講習を実施した。 ・アライグマの生態、法制度上の位置づけ、捕獲管理の考え方等について、市民、捕獲従事者、行政職員等を対象に普及啓発を行った。 ・県に対し、アライグマの捕獲および処分に係る県内体制の構築について提言・助言を行った。

⑫活動実績	
活動期間	令和8年1月
地域	福島県内
対策の種類 ※該当に✓を記入	□捕獲手法　□侵入防止技術　□周辺環境整備　□地域合意形成　☑データに基づく計画立案 □野生動物管理（生息調査含む）　□ICT機器の活用（捕獲通知等）　□処理（焼却・減容化） ☑その他（　GISの活用　）
対象獣種 ※該当に✓を記入	☑シカ　☑イノシシ　☑サル　☑クマ（ツキノワグマ） □ハクビシン　☑アライグマ　□アナグマ □カラス　□カモ　□ヒヨドリ　□スズメ　□ムクドリ □その他鳥獣（　　）
活動の内容	・行政職員を対象に、GISを活用した鳥獣被害対策における被害分析、対策立案および効果検証への活用事例や有効性について講演を行った。